

目次

□巻頭言 大鳴門橋に想う……………今 中 靖 雄 / 1

グラビヤ——大鳴門橋特集

□大鳴門橋特集

大鳴門橋のケーブル工事……………今 中 靖 雄 / 3

大鳴門橋補剛桁架設工事……………今 中 靖 雄 / 10

とぎき
門崎高架橋上部工の架設……………今 中 靖 雄 / 18

いび
伊弉高架橋工事における
大型ケーブルクレーン工……………今 中 靖 雄 / 24

とぎき
大鳴門橋および門崎高架橋の
橋梁点検補修用作業車……………今 中 靖 雄 / 32

□随 想 北 の 山 々……………高 山 岩 男 / 38

発破によらない岩破碎法の現状と将来……………大 柿 光 司 / 40

アブレイシブジェットによる
トンネル切断装置と実績……………三 尾 興 平 / 45

JCMA 第31回海外建設機械化視察団報告…………… / 50

□'84 建設機械の現状

11. 工事中水中ポンプ……………宮 武 末 男 / 55

12. 原動機など

12.1 ディーゼル機関……………中 村 正 夫 / 58

12.2 小型内燃機関……………山 口 優 汎 / 62

12.3 油圧駆動装置……………井 上 和 夫 / 64

□新工法紹介

PB 工法/PANOSOL 工法 (泥水固化工法) /
パネウォール工法/MAI ウォール工法 (泥水固……調査部会 / 67

止水壁工法)

□新機種ニュース……………調 査 部 会 / 71

□文献調査

コンクリート舗装ブロックの合理的施工方法 /
トローリーアシスト式ダンプトラックシステム……………文献調査委員会 / 75

□統 計

建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移
……………調 査 部 会 / 78

行事一覧…………… / 79

編集後記……………(黒田・河村・林) / 82

◀表紙写真説明▶

2400-P トラベラクレーン

株式会社 神戸製鋼所

本機は大鳴門橋中央径間の補剛桁架設に使用された 360° 全旋回式クレーンで、走行レールである軌条桁の盛替えが自力のできるほか、次のような特長を有している。

① クレーン下部架台には +1%～-7% の橋軸の傾斜を吸収するレベリング装置を具備している。

② 走行は油圧シリンダで行い、主構トラスの1スパン分(21.2m)を約2.5時間で移設定着できる。

③ 主構トラスや主横トラスの重量物は6本掛主フックブロックで、15t以下の部材は2本掛補フックブロックで架設し、作業の効率化を図っている。

④ 上部旋回体より油脂類が海上に落下するのを防止するため特に配慮した。

◀主な仕様▶

最大つり上げ能力:(主巻) 85t×28m
(補巻) 15.5t×35m
ジブ長さ:33.5m または 39.6m
エンジン出力:400PS/2,100rpm (ターボチャージャー,アフタークーラ付)
全装備重量:約 350t